

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら大宮大成町教室			
○保護者評価実施期間	7年 11月 1日 ~ 7年 11月 20日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	14	(回答者数)	14	14
○従業者評価実施期間	7年 11月 1日 ~ 7年 11月 20日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	14	(回答者数)	14	14
○事業者向け自己評価表作成日	7年 11月 29日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設のスペース、従業員配置、環境設備の状況は評価の結果が良かった。	・一日の流れ等文字とイラストで提示することで各自動それを見て確認している様子が見られる。 ・月1で全体ミーティング、放ディ・児発ごとのミーティングの機会も月2-4回の頻度で行えている。	職員・児童が増えることを想定しつつ、持続し、続けていく。具体的には情報共有の仕組みのさらなる整備、支援方針の一貫性の確保、記録の効率化、振り返りの時間の確保、役割分担の明確化、環境設備の拡充、スタッフ研修の継続、保護者との協働、安心できる活動環境の維持。
2	適切な支援の提供が行えているところ。	・支援する職員の意見交換の場が設けられており普段の振り返りの場でも各児童の課題等を離す場がある ・月ごとの具体的な目標設定もありそれを共有しながら支援している。 ・活動の中、一日の流れの中で児童に洗濯する場面を設けている。毎日のおやつを一部選択してもらっている	持続し、続けていく、児童の状況によって臨機応変に対応できるよう支援の質を高める。 具体的には情報共有の仕組みのさらなる整備、支援方針の一貫性の確保、記録の効率化、振り返りの時間の確保、役割分担の明確化、環境設備の拡充、スタッフ研修の継続、外部専門家との連携、保護者との協働、安心できる活動環境の維持。
3	非常時等の対応について、従業員の認識が高いレベルで統一されている。	・BCP、虐待防止、感染症蔓延防止等の研修が年間通してしっかり行えている。	職員・児童が増えることを想定しつつ、持続し、続けていく。具体的には情報共有の仕組みのさらなる整備、記録の効率化、振り返りの時間の確保、役割分担の明確化、スタッフ研修の継続、保護者との協働、安心できる活動環境の維持。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わりが薄い。	計画予定とはしているが、具体的な計画が立てられていない。保育園、幼稚園、学童との関わり自体が現実的ではなく、1年以上前から企画し納得していただく必要があるのではないか？	具体的な実施計画→実施が必要。 地域単位ではなく、まずは従業員の子供との交流から進める。 具体的にかかりわりを持っている事業所等に聞く。情報を集めることがまず必要
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等が少ない	保護者会や個別面談時にやってはいるが、共通の悩みに対しての支援が出来ていない状況。	共通の悩みや不安を聞き取り、それに対しての支援を行っていく。 保護者等で先輩保護者に直接質問する機会を作り、トレーニングと交流を提供する。（保護者の負担にならない範囲で）
3	第三者による外部評価を行っていない。	法兰チャイズ本部の定期的な評価は受けているが第三者による外部評価が必要な状況。	1教室単位ではなく、会社単位での改善が必要と考える。